

2018年7月 西日本豪雨（平成30年7月豪雨）



【宇和島市】土砂崩れによる護岸等の流出（白浦地区）



愛媛県災害医療対策本部（愛媛県庁）



災害医療対策本部集合写真（愛媛県庁）



中村時弘愛媛県知事による激励（愛媛県庁）

【活動概要】

2018年7月5日から8日にかけて中国・四国地方で記録的な大雨が発生。愛媛県・広島県・岡山県を中心に甚大な被害が発生した。愛媛県内でも大洲市から宇和島市にかけて3700棟以上の住宅が全半壊し、2700棟以上が浸水した。当院からは薬剤師の斉藤が7月14日～7月17日まで愛媛県庁内に設置された「愛媛県災害医療対策本部」へ本部要員として派遣された。

派遣された時期は、急性期対応を終え復興へ舵を切り始める重要な時期で、DMATなどが行ってきた活動を整理して地元行政機関（県や市町村、保健所など）へ引き継ぐ作業が中心であった。また、定期内服薬が不足した避難者への対応やDMATが支援に入った医療機関や行政機関へのフォローアップなども行った。

豪雨災害は全国どこでも起こりうる災害であり、日頃から常に備えておかなければいけない災害であると改めて考えさせられました。（斉藤）